

評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1- (1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1- (1) -① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 利用者の意思について、言葉に限らない表情やしぐさから確認している。可能な限り、利用者の興味を持つこと、能力、やりたいこと等を支援計画に取り入れている。北棟では毎月開かれる自治会があり、利用者からの意見が出される機会となっている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-1- (2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1- (2) -① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	(a)・c
<p>良い点/工夫されている点： 権利擁護や虐待防止についての規定やマニュアルが整備されている。年に1度は、支援員としてのあべき姿等の指標について読み合わせを行っている。また、毎月開催する虐待防止委員会では、職員が虐待防止のセルフチェックシートを用いてセルフチェックを行った統計を取り、検証し、法人内で共有し、意識を高めている。近隣の自治会長や民生委員等で構成された第三者委員があり、現在はコロナ禍で控えているが、毎年1回、施設訪問をしてもらっている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2 生活支援

A-2- (1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2- (1) -① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 職員からの声かけ等により、洗濯物を出したり、片づけたりすること等、食事前後の手伝い等、自身でできる事の動機づけをする支援を行っている。棟会議や申し送り等で共有された情報はモニタリングに活かし、できることに着目し、計画に反映している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
A④ A-2- (1) -② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a)・b・c

<p>良い点／工夫されている点： 言葉によるコミュニケーションでは、利用者の意思が確認できない場合が多いが、声をかけた際の表情やしぐさ等から読み取るようにしている。強度行動障がい支援者養成研修を全職員が履修しており、利用者の行動の背景やその意味する思い等の把握に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 個別対応として利用者一人ひとりと話ができる機会を設けており、利用者によっては、全職員で関わりが持てるよう、意見交換や情報共有の機会を作っている。また、サービス管理者と職員は日々の支援の中で、利用者それぞれのケースについてすぐに相談できる体制があり、情報の共有を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 利用者が集中して取り組める音楽や図工、軽運動などの活動を利用者に合わせて、また選択してもらう等して提供している。カラオケや外部講師を招いての陶芸教室を行っていたが、コロナ禍のため、実施をしていない。参加する活動については個別支援計画に記載し、日中活動支援を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a・(b)・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 利用者それぞれの障がい特性を把握し、特性に合わせた支援を行っている。例えば、音や視界に入るものに対し、過敏な反応を示す利用者に対し、静かな場所で過ごせるよう工夫したり、パーテーションを一時的に用いたりする等して支援している。本人の意思を尊重しつつ、自分で身の回りのものを整理できるよう、日課に取り入れ、見守る等の支援をしている。支援の検討については随時行い、変更が必要と思われる場合は、ケース会議を行い、迅速に支援に活かせるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 利用者それぞれの状況に応じた支援の継続が難しいとのことで、課題の一つとして捉えている。定期的に支援状況の確認を行い、エビデンスに基づいた支援の継続に向けた取り組みに期待したい。</p>	

A-2-(2) 日常的な生活支援

		第三者評価結果
<p>A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>a・(b)・c</p>	
<p>良い点／工夫されている点： 日常的な生活支援は個別支援計画に基づき、実施されている。食事支援については自助具を用いる等、自立に向けた支援に努めている。食事形態や自助具の有無等は、食札に記載している。入浴時にバイタルチェックはしていないが、毎日、朝夕の検温と必要な利用者には血圧測定を行っている。排せつ支援については、決められた時間にトイレ誘導を行い、また、個々のペースに合わせ、様子を見て声かけする等の支援を行っている。トイレはカーテンで仕切られ、利用者に合わせて付き添ったり</p>		

、見守りをする等している。
改善できる点/改善方法： 入浴前の健康確認の徹底や排せつ支援におけるプライバシー保護について、今一度、個別支援計画の中で検討されたい。

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 通路や居室などの出入口は引き戸になっている。また、敷居等の段差があるが、木材で補修されており、バリアフリー化されている。しかし、施設の老朽化は否めず、利用者の高齢化の進行や障がい特性に施設環境が合わなくなっているため、昨年、施設整備プロジェクト委員会を立ち上げ、5か年計画で、段差解消や手すりの設置に向けた取り組みを行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 毎月、理学療法士が来訪し、麻痺のある利用者等のリハビリを実施している。また、職員が理学療法士に生活リハビリの相談をし、指導やアドバイスを受け、利用者定期的に実施している。マッサージについても指導を受けたり、動画を活用する等して、職員が実施しているケースもある。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 毎日、朝夕の検温を看護師が実施し、必要な利用者には血圧測定も行っている。排せつ管理について、必要な利用者には、排せつチェック表を用い、排せつ間隔に注意を払う対応を行っている。定期的な内科、精神科検診を実施し、看護師、職員が立ち会い、指示を受けたり、情報提供を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 服薬管理については、利用者の状態に応じて、様々な方法で服薬支援を行い、落薬、誤薬が無いよう注意を払っている。また、職員会議で利用者の病気や健康に関する勉強会を実施する等、医療的支援の適切な実施に努めている。</p>	

改善できる点／改善方法：

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・ (b) ・c
良い点／工夫されている点： 障がい特性から、利用者の社会参加や学習会への参加の意欲・ニーズを把握しにくいのが、施設内でのサークル活動や行事等で地域住民との交流の機会を設ける等して支援している。	
改善できる点／改善方法： 社会参加についての情報を提供する等して、その人なりの社会参加の可能性について試行錯誤することになるかもしれないが、社会参加の意欲の向上に向けた取り組みに期待したい。	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	(a) ・b・c
良い点／工夫されている点： 障がい特性により、地域生活への移行が困難であると考ええる。地域に開かれた施設として、法人や園の取り組みや報告については、地域に向けて情報を発信し、地域交流に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	(a) ・b・c
良い点／工夫されている点： 日頃から、利用者の様子については電話等で家族に報告し、支援に関する意向等を聞いている。また、年2回、個別支援計画の見直しの際に懇談を行い、支援に関する意見交換をしている。半数ほどの利用者が帰省をしており、その際にはノートを活用し、日頃の様子や支援方法について情報提供したり、帰園の際に相談や意見や要望等をいただけるので、家族との大切なコミュニケーションの機会としている。また、体調変化や通院等についても報告や連絡を行っている。	
改善できる点／改善方法：	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c

良い点／工夫されている点： 評価外項目である。
改善できる点／改善方法：

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 評価外項目である。	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A⑳ A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 職員の経験年数や能力に応じて、年間研修計画が立てられている。強度行動障害支援者養成研修は全職員が受講を終了している。コロナ禍により、外部から講師を招いた研修は実施していないが、法人内の施設で毎年、事例発表を行う研修会を実施している。事例発表は、聞く立場においても参考になる事が多く、発表する側においては、取り組みに対する成果が感じられ、学びのモチベーションを高める機会にもなっている。	

改善できる点／改善方法：

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A② A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 利用者の障がい特性から、想定しにくい項目である。現在、ITに関するネット環境を整備しておらず、利用できない環境である。	
改善できる点／改善方法： 今後、利用者が興味や関心を持ち、趣味活動を広げられるよう環境整備について検討されることに期待したい。	